

学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」

校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」 R5. 9. 12発行 文責 校長 松崎大樹



**2学期始まって3週目に突入しました。まだまだ暑い日もありますが、今年の9月は、落ち着いた日々の中で学校生活が進んでいます。**

暑さ寒さも彼岸までと言われるように、もうしばらく暑い日も続くことと思いますが、そんな中、生徒達は2学期がスタートしてから3週目に突入します。これまで9月に体育大会を開催していたため、例年のこの時期は、本番に向けて行進や体操、各種競技やダンスの練習に全校で取り組む、郡中が一番躍動していた時期でもありました。

しかし、体育大会が5月に移行したため、今年の9月は、比較的落ち着いた日々の中で、学校生活が進んでいます。そして、この落ち着いた2学期スタートを活かすためにも、生徒達には、じっくりと自分と向き合う中で、2学期の目標や取組についてしっかりと考えてもらい、決定したら、粘り強い継続した取組を実行してもらいたいと思っています。

2学期のスタートは、生徒一人一人の実りの秋に向けてのスタートです。保護者の皆様におかれましても、生徒達の充実した2学期の日々につながるよう、温かい見守りをご支援をよろしくお願い致します。

# 夢はでっかく 根は深く

“人”として大きくなろうと思うなら、目に見えない根の部分を深く深く伸ばすことが大切です。あなたの“実りの秋”に向けて継続した取組を大切にしていきましょう!

チーム郡 思いを力に! | 9月第2週の言葉!

**自分の生き方のために、仲間の生き方から学ぶことも大切です。 「2学期始業式・生徒代表の言葉」掲載します。ご一読下さい!**

## 2学期の抱負 3年 才藤 陽和

1学期が終わり、2学期の抱負を考えたところ全部で18個もありました。さすがに多すぎてまとまらないので、その中から2つに絞りました。まず1つ目は、家庭学習の習慣化です。ロンドン大学が行った習慣化の研究のことを家族から聞き、調べました。それによると、勉強や読書等の行動習慣は、1ヶ月続けると定着するという事です。私は2年生まで部活動に参加していました。それまでは、テスト前しか勉強しておらず、普段は練習や大会で疲れて、なかなか家庭学習に取り組めていませんでした。3年生からは時間ができて塾にも通うようになり、zoomを使った勉強会にも参加したりと、家庭学習の時間が増えました。高校受験とその先の大学受験に備え、2学期は家庭学習の習慣化と学習時間を増やしたいです。2つ目は早起きの習慣化です。早起き・運動などの身体習慣は習慣化に3ヶ月もかかるとのことです、正直自信はありません。早起きは本当に苦手です。ただ、1学期の終わりに思い切って参加した挨拶運動の時は、何とか早起きができました。高校生になると、今より通学時間が長くなります。「時間に余裕があると心にも余裕が生まれる」と実感したので、早起きの習慣も身につけようと思います。2学期は、合唱コンクールもあります。練習は大変ですが、体育大会での団結力を思い出し、本番で自分たちらしい合唱ができるように、楽しく練習に取り組みたいです。言われたことを何となくではなく、自分で行動していこうと思います。

## 1学期頑張ったことと2学期の抱負 2年 村上 柚月

みなさんは、1学期に頑張ったり努力したことは何ですか? 私は、1年生の頃よりも頑張ったことが3つあります。1つ目は勉強です。私は1年生の頃、勉強がとても苦手で、テストでも良い点を取れたことがなかったです。でも2年生になって心を入れ替えました。テストで良い点数を取りたかったし、成績も良くなりたいのと、行きたい高校も選べるぐらいまでになりたいと思い、頑張ろうと思いました。その結果、一番最初に実施された実力テスト、次に実施された1学期期末テストでは、1年生よりも良い点数が取れてとても嬉しかったです。次第に、努力すれば何でもできると自信がついてきたのです。2つ目は部活です。私が入っている部活は吹奏楽部です。私は3月頃に楽器が変わって、自信はあまりなかったけど、出来るだけ早く合奏に参加できるように頑張ろうと思いました。今では自分の楽器が好きだし、コンクールの自由曲では、ソロや私のパートだけで演奏ができる場所もあり、とても楽しく演奏することができました。3つ目は、学校生活です。2年生になって、時間を見て行動するようにしています。3分前入室、2分前着席、1分前黙想を徹底できるように心がけています。また、1学期は総務委員会に入って、委員と協力して、クラスのみなをまとめたり、声掛けをしたり、学校行事を成功できるように盛り上げたり、自分ができるとは頑張ったと思います。このように、自分に自信がもてると、いろいろなことを頑張れることに気づきました。それも先生や仲間たちがいつも支えてくれているおかげです。「努力は報われる」という言葉を信じて、2学期も更なる上を目指して、頑張りたいと思います。

## 1学期の振り返りと2学期の抱負 1年 江頭こはる

みなさん夏休みは楽しく過ごせましたか? 中学生になって初めての夏休み、私はキャンプに行ったり、友達と遊んだりしてとても楽しい思い出ができました。さて、今日から2学期です。1年生は1学期の4ヶ月を過ごして少しずつ学校にも慣れてきている頃だと思います。みなさんは、夏休み中に1学期の振り返りをすることができましたか? 私は、総務委員としての自分の仕事について振り返りました。1学期は、少し不安なところもありましたが、2学期には自信をもってクラス・学年のリーダーとしての時間の呼びかけやトイレのスリッパ並べを積極的に取り組みたいと思います。また、総務委員として活動する中で、気づいたこともありました。総務では1学期に、授業の号令の時に大きな声で元気に挨拶ができるように、授業挨拶をチェックする活動をしました。授業挨拶は、活動をする前と比べると良くなっているクラスもありましたが、活動する前と変わっていないというクラスもありました。2学期には1学期の課題や反省点を振り返り、1学期よりも2学期の方が元気の良い挨拶ができるような郡中にしたいです。夏休みが終わったばかりですが、今日と明日の実力テストを含め2学期も頑張りたいです。



## 2学期のスタート「実りの秋」に向けて継続した取組、新たな取組が確実に動き始めています。ご紹介させていただきます。



### その1 朝長生徒会長より生徒の皆さんへのお願いです。 生徒総会で決議された「郡中BRAND」で、さらに郡中の挨拶を高めていきましょう。



**第77代生徒会  
スローガン  
「超越～今を遥かに  
超えてゆけ～」**

9月が今日からスタートしました。そして、生徒の皆さんは生徒総会で決定した「郡中BRAND」を実行できていますか？「個性を認め、いつでも、どこでも、誰が相手でも、自ら考え、行動する郡中生」です。この「郡中BRAND」をさらに徹底する為に、2学期は挨拶に力を入れたいと思っています。朝の挨拶運動をしていて、1学期は元気な声で気持ちの良い挨拶をしている人が多くなったと感じました。また授業前後の挨拶も改善されてきたと思います。しかし、挨拶はこれだけではありません。学校内での挨拶はもちろん、地域の方々への挨拶もあります。取り組めることがたくさんあるということは、郡中の挨拶にはまだまだ伸びしろがあると言えます。皆さんで意識して、さらに郡中の挨拶を高めていきましょう。

そしてもう一つ。皆さんは7月から行っている挨拶ボランティアを知っていますか？これは生徒会役員だけでなく、全校生徒、誰でも参加できる挨拶運動です。現在10名以上の生徒が参加しています。もし、この学校の挨拶を変えたい、興味があるから参加したいと思っている人は、毎日理科室C前に集合し、7:40～7:55まで行っているのので、ぜひ参加してください。あなたの一歩で郡中の挨拶が変わるはずですよ。ご協力の程、よろしくお願い致します。

### その2 郡中学校合唱コンクールに向けて、合唱練習、ピア/伴奏、指揮者の練習が始まっています。みんなの力を合わせて素敵な合唱を創り上げましょう！



左から2枚の写真：週末に自主的に集まった3年生のピアノ伴奏の生徒たち。坪田先生の指導に真剣に耳を傾け、練習に打ち込む姿がありました。右側の写真：昼休みに集まった指揮者候補の3年生の生徒たち。伴奏と仲間の歌声に合わせて、一生懸命に指揮を行っていました。

夏休みが明けるとすぐに10月13日（金）開催予定の郡中学校合唱コンクールに向けて、生徒たちの真剣な練習が始まりました。校長室に音楽室から響いてくる生徒たちの歌声に加え、週末や昼休みにも生徒たちがピアノ伴奏や指揮者練習に自主的に取り組む真摯な姿がありました。コンクール本番の素敵で華やかな歌声は、このような地道で継続された取組がいくつも積み重ねられて創り上げられるのだと改めて感じたところでした。きっと生徒たちは、このような取組を通して郡中伝統の合唱コンクールを立派に創り上げ、保護者や地域の皆様に大きな感動を届けてくれることと思います。合唱コンクール当日はぜひご来校いただき、生徒たちの素敵な歌声の中で、有意義な初秋の時間を過ごしてください。心よりお待ちしております。

### その3 長崎医療センターから助産師 山口律子様を講師としてお招きし、3年生対象に「性教育講演会」を実施しました！

中学生は、心も体も大きく変化する時であり、人生の中でも一番多感な時期を迎えていると考えます。また、それだけに「男女交際」や「性」に対する関心も非常に高くなっているのではないのでしょうか。さらに、スマートフォンの普及等、急速な情報化に伴い「性」に関する情報が氾濫している今の社会状況の中で、思春期を迎えている3年生が、「性」に関する情報を適切に選択し、正しく理解することで、健康で豊かな人間関係や社会性を身に付けることはとても大切なことだと考えます。

そこで、今回は長崎医療センターから助産師の山口律子様を講師としてお招きし、実際の医療現場における生命誕生の様子や性に関する正しい知識、そして、出産・妊娠に伴う諸問題等についてもわかりやすく話していただきました。

この講話を通して、3年生の皆さんには、命の大切さ、そして、自分やパートナーの心と体について正しい知識を身に付け、これからの自分の人生をよりよく生きる力にしてもらいたいと思います。



左の写真：性教育講演会の会場風景 中の写真：受精卵の大きさを折り紙で確認しました 右の写真：3kgのおもりをつけ妊婦さんの模擬体験